

I 以下の設問（共通問題）に答えなさい。

以下の文章は、今から百年前、1923 年 9 月 1 日に発生した関東大震災を受けて芥川龍之介が綴ったエッセイ「震災の文芸に与ふる影響」（初出未詳）の全文である。これを読み、〈災害が文芸に与える影響〉についてあなたの考えるところを具体的な作家や作品を挙げて論述しなさい。なお、「災害」には、自然災害（天災）、人的災害（人災）に加え、戦争による災害（戦災）も含めてよい。

大地震の災害は戦争や何かのやうに、必然に人間のうみ出したものではない。ただ大地の動いた結果、火事が起つたり、人が死んだりしたのにすぎない。それだけに震災の我我作家に与へる影響はさほど根深くはないであらう。すくなくとも、作家の人生観を一変することなどはないであらう。もし、何か影響があるとすれば、かういふことはいはれるかも知れぬ。

災害の大きかつただけにこんどの大地震は、我我作家の心にも大きな動揺を与へた。我我ははげしい愛や、憎しみや、憐みや、不安を経験した。在来、我我のとりあつかつた人間の心理は、どちらかといへばデリケートなものである。それへ今度はもつと線の太い感情の曲線をゑがいたものが新に加はるやうになるかも知れない。勿論その感情の波を起伏させる段取りには大地震や火事を使ふのである。事実はどうなるかわからぬが、さういふ可能性はありさうである。

また大地震後の東京は、よし復興するにせよ、さしあたり殺風景をきはめるだらう。そのために我我は在来のやうに、外界に興味を求めがたい。すると我我自身の内部に、何か楽みを求めるだらう。すくなくとも、さういふ傾向の人は更にそれを強めるであらう。つまり、乱世に出合つた支那の詩人などの隠棲の風流を楽しんだと似たことが起りさうに思ふのである。これも事実として予言は出来ぬが、可能性はずみぶんありさうに思ふ。

前の傾向は多数へ訴へる小説をうむことになりさうだし、後の傾向は少数に訴へる小説をうむことになる筈である。即ち両者の傾向は相反してゐるけれども、どちらも起らぬと断言しがたい。

（芥川龍之介「震災の文芸に与ふる影響」、『芥川龍之介全集』〈筑摩全集類聚〉第四巻所収、筑摩書房、1971 年）

Ⅱ 以下の設問（共通問題）に答えなさい。

以下の文章を読み、映像そして写真を文学におきかえたとしたら、他者の苦痛にたいして文学はどのように向き合ってきたと考えられるか。映像・写真との比較を行いつつ、具体的作品を例に挙げながら論じてください。

映像は、距離を置いた地点から苦しみを眺める方法であるという理由で非難を受けてきた。まるでそれ以外に眺める方法があるかのように。しかし近距離で、映像の介入なしに苦しみを眺めることも、眺めるという点では同じである。

残虐の映像にたいする非難の或るものは、視覚そのものの性質と切り離せない。視覚は努力をともなわない。視覚は空間的距離を必要とし、視覚は遮断することができる。（目蓋を閉じることができるが、耳には蓋がない。）このような性質のために古代ギリシアの哲学者たちは視覚を感覚のなかでもっとも優れた、もっとも高貴な感覚と考えたが、まさにその性質が今やマイナス面と結びつけられている。

写真が提供する抽象化された現実には道徳的に是認できないものがある。人間は他者の苦しみを、距離を置いた地点から生々しさをそぎ落としたかたちで経験する権利はなく、従来賞賛されてきた、視覚のもつすばらしい性質にたいしてあまりに大きな人間的（ないし道徳的）代価——世界のなかの攻撃や侵略から一步退き、そのために観察をして選択したもの——にのみ注意を向けることが可能だという——を支払っている。しかしこれは知性そのものの機能を言い換えているに過ぎない。

一步退いて考えることは何ら間違っていない。何人かの賢者のことばをパラフレーズするならば、「誰かを殴るという行為はその行為について考えることと両立しない」。

スーザン・ソントグ『他者の苦痛へのまなざし』（北條文緒訳 みすず書房 2003 年）118-119 頁

※WEB 掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

REGARDING THE PAIN OF OTHERS by Susan Sontag.

Copyright © 2003, Susan Sontag, used by permission of The Wylie Agency (UK) Limited.

Ⅲ 下の1から15の設問事項から5項目を選び、それぞれについて200字以内で説明せよ。
記入は順不同でもよいが、設問項目番号は解答欄左上の空欄に明記すること。

- 1 フラナリー・オコナー
- 2 アルベール・カミュ
- 3 西脇順三郎
- 4 エドガー・アラン・ポー
- 5 紫式部
- 6 サルマン・ラシュディ
- 7 バルガス・リョサ
- 8 『共同幻想論』
- 9 『フランケンシュタイン』
- 10 『火垂るの墓』
- 11 『万延元年のフットボール』
- 12 異化
- 13 イディッシュ語
- 14 韓国のフェミニズム文学
- 15 交差性

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

現代文芸コース

総 点

I ここから記入すること

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

Ⅱ ———ここから記入すること———

~~~~~これより先の余白には絶対に記入しないこと~~~~~

III ————ここから記入すること————

設問番号( )

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small, uniform squares formed by thin black lines. There are 20 columns and 15 rows of squares, creating a total of 300 square units. The margins are consistent on all sides.

設問番号( )

[illegible]



A full-page view of a blank sheet of white graph paper. The grid consists of small, uniform squares formed by thin black lines. There are approximately 20 columns and 20 rows of squares across the page.

This image shows a full page of blank graph paper. The grid consists of small, uniform squares formed by thin, dashed lines. There are 20 columns and 10 rows of these squares, creating a total of 200 individual square units across the entire page. The margins are consistent on all sides.

6 / 7

A full page of blank graph paper. The grid consists of small squares formed by thin, dotted lines. There are approximately 20 columns and 18 rows of squares across the entire page.

7 / 7